

夢大使紹介②③



宮崎 さち子 氏

三井不動産株式会社

南三陸町との関わり

2011年から南三陸町にお邪魔するようになりました。登米市の廃校に二次避難されていた南三陸の皆様と出会ったことが、ご縁のはじまりです。支えたいという想いでお邪魔したはずが、出会った方々に一瞬で魅了され、気が付けばこの15年、私の方が支えられ、励まされ、教えられてきました。町の方がかけてくださった「自分たちはもう、ボランティアと被災者の関係ではないよね」という言葉は、今でも私の宝物です。

大使としての活動内容

これまで特に印象深かったのは、同じくさんさん夢大使仲間の村上泰史さんのご協力のもと、2015年から大切に続けてきた町の中学生の皆さんとの交流です。その歩みは、気が付けば、中学生の皆さんの素敵な感性が積み重なった10年間の町の記録となりました。最近では「その10年の記録を町のみみんなも見たい」というお声を頻りにいただくようになり、また、かつてこの取り組みに参加してくれた生徒さんや先生方が、数年を経て、運営側を支えてくださるようになったことも、個人的にとっても嬉しく感じました。

南三陸町への想い

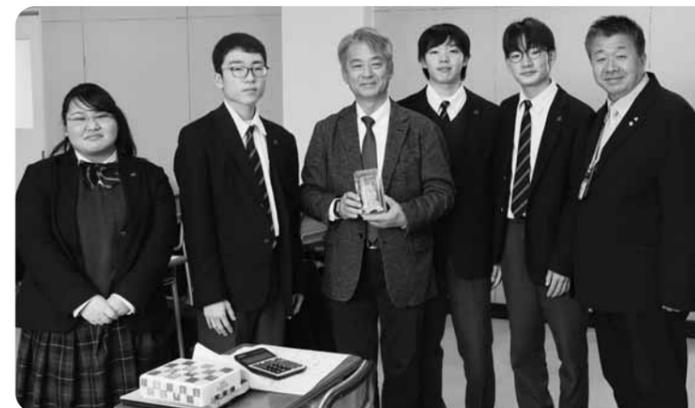
南三陸町への想いは、一言では言い尽くせません。人生の節目を共に重ねながら、これからもご縁を大切にしていきたい町です。

高齢者叙勲

旭日単光章 [地方自治功労]

山内 ^{ひろし} 拓 さん (㊦山の神平)

平成5年に志津川町議に初当選以来、4期12年にわたり在職され、平成12年3月から平成16年2月まで副議長、平成6年9月から平成12年2月まで志津川歌津病院組合議会議員、平成14年2月から4月まで志津川歌津環境衛生組合議会議員として在任され、地方自治の振興発展のほか、住民福祉の向上に貢献されました。



駐チリ日本国特命全権大使が表敬訪問

2月9日(月)、駐チリ共和国日本国特命全権大使の曾根健孝氏が、本町を表敬訪問されました。南三陸高校を訪れ生徒と交流したほか、うみべの広場を視察。町長室では町長と懇談し、チリとの交流や今後の連携について意見を交わしました。両国の友好関係のさらなる発展が期待されます。

夢大使紹介②④



村上 泰史 氏

ボランティアサポート

南三陸町との関わり

東日本大震災の際、RQ市民災害救援センターの一員として南三陸町と関わったことが、私と町との最初のご縁です。団体の活動終了後、個人として数年間宮城に残り、その後も細々と活動をする中で、多くの方々に支えられ、現在までご縁が続いています。

大使としての活動内容

大使としては、震災後に全国各地で起きた災害の被災地とのさまざまな繋がりの中で、南三陸の方々が被災後をどのように歩んできたのかを伝え、必要に応じて実際に南三陸の方々をお繋ぎしています。茫然自失で何をどうして良いか分からなかったが、南三陸の方々の話を聞いて前を向くことができた、という声をいただくことも少なくありません。また、東京の企業と連携した情報発信や、南三陸の食材や魅力の紹介にも取り組んでいます。

南三陸町への想い

町の復興は、建物や環境など目に見える形では着実に進んできました。一方で、心の復興は人それぞれ異なり、百人いれば百通りあると感じています。1人でも多くの方がその歩みを進められるよう、自分にできることを考えながら、これからも南三陸町と関わり続けていきたいと思っています。



南三陸高校が町へ寄付金贈呈

南三陸高校の「地域学・地域探究学」の授業で、3年生が町の特産品を活用した商品開発に挑戦しました。(株)ヤマウチと連携し「海鮮キムチ」を商品化し、町内イベントで280個を販売。得られた利益を町へ寄附することとし、2月10日(火)に町長室で贈呈式が行われました。